

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.36)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の不具合対策の進捗について

(1) 今回の不具合にあたって

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)において1月14日に発生した不具合(真空加熱炉の熱交換器が破損し冷却水が施設内に漏洩)による運転停止に関して、多くの皆様に多大なご迷惑・ご心配をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。

特に、一昨年の漏洩事故の対策として安全総点検を行ったにもかかわらず、ステンレス床からの漏水が発生したことは、弊社の施工管理、危機管理などの環境安全管理が不十分だったことが大きいと認識しています。

また、この問題について、「事業だより」による情報公開にとどまり、より広く公開する判断が遅れたことについて大変反省しています。

今後は、より広い情報公開に努め、市民の皆様の信頼を得られるよう全力をあげてまいります。

(2) 不具合対策について

- ① まず、破損した熱交換器と同種の8台全てを新品に交換するとともに、漏洩検知器の増設を行います。また、真空加熱炉以外の施設内の熱交換器についても全基を点検し、異常を認められた箇所については、すみやかに修繕します。
- ② 既存設備の安全性を再確認するため、セーフティネットを構成している流出防止堤、防油堤、ステンレス壁床の遮へい状況、オイルパン及び漏洩検知器について全て点検し、異常を認められた箇所については、すみやかに安全対策を講じます。

さらに、施設の安全対策を講ずると同時に、全社員への安全教育も再度実施し、危機意識、危機管理の徹底を図り、豊田施設が設備・人ともに安全かつ健全であるか検証いたします。

不具合対策の進捗状況については、引き続きこの事業だよりで皆様へご報告するとともに、市や県等関係者へ随時報告します。



熱交換器の点検(ボイラー室内)



流出防止堤の点検



防油堤の点検



ステンレス壁床の遮へい状況の点検



PCB漏洩検知器の点検

2. 豊田市PCB処理安全監視委員会へ報告



豊田市PCB処理安全監視委員会

平成18年度第3回豊田市PCB処理安全監視委員会(委員長:藤江幸一豊橋技術科学大学教授)が、3月9日(金)に豊田PCB廃棄物処理施設で開催されました。

はじめに豊田市から、豊田施設で発生した不具合に対する市の対応、立入調査及び指導状況等について報告されました。

その後、委員の方々に不具合が発生した設備を確認していただいた後に、弊社から不具合の発生、原因究明、再発防止策等の中間報告をしました。

【次頁へつづく】



不具合が発生した設備の現地確認

【前頁からのつづき】

委員の方々から、

- ① 不具合を何度も繰り返しており、市民の信頼は失墜している
- ② 不具合対策の進捗状況は、随時市や県等関係者に報告すること
- ③ 再稼働する前に、説明責任を果たし関係者の理解を得ること
- ④ 工事にあたり施工管理体制をしっかりと確立すること

等数多くのご意見をいただきました。

委員の方々からのご意見を真摯に受け止め、全力を尽くして施設の安全性・健全性を確立してまいります。

3. 設備と作業の紹介(含浸物洗浄設備)

トランス、コンデンサから解体分別された部材のうち含浸物(素子、木、紙等のようにPCBが部材の内部まで染み込んでいるもの)は、下図のとおり、①まず攪拌洗浄装置において部材の表面に付着したPCBを洗い落とし、②さらに部材を真空加熱分離装置に入れて、内部に染み込んでいるPCBを取り除きます。

PCBが部材の内部まできれいに除去されたことを分析により確認した後、部材は産業廃棄物として払い出します。



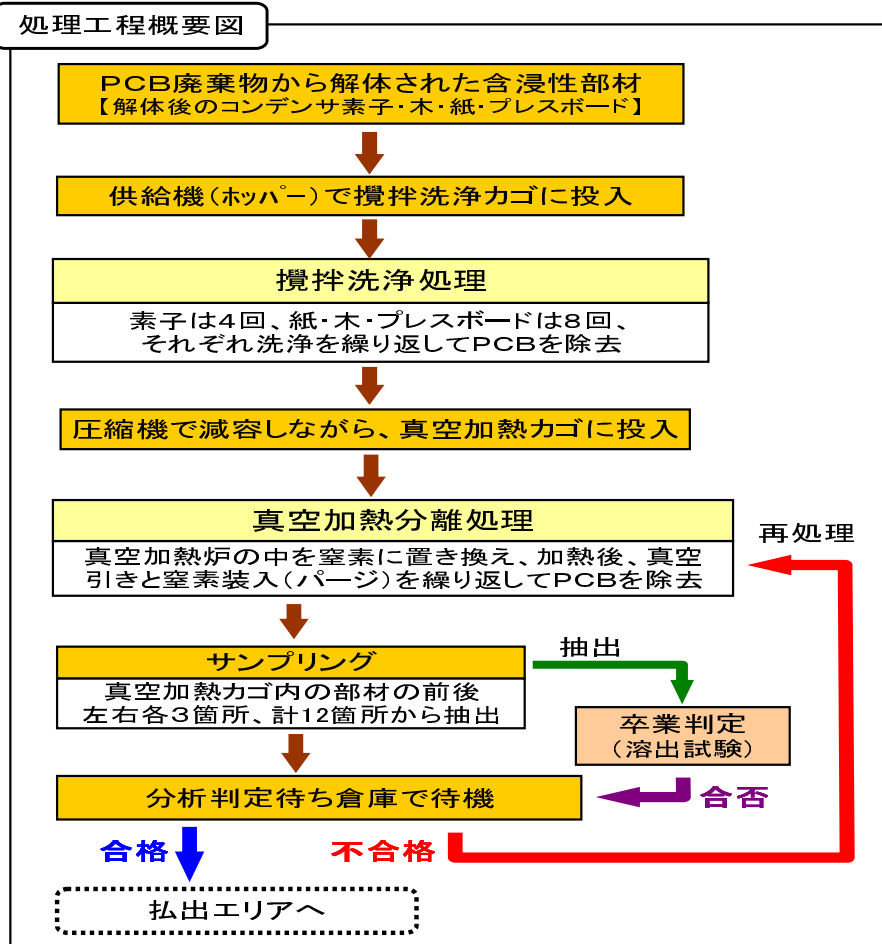
攪拌洗浄カゴに入った部材(素子)



攪拌洗浄装置



真空加熱分離装置



化学処理グループ 除染・用役班長から一言

当設備では多量のPCBを含んだ部材を取り扱っているため、作業時の危険又は事故として①PCBや洗浄油の漏洩②作業員のPCB暴露③クレーン等の自動運転機械による巻き込み事故④真空加熱後の火災などが想定されます。

このため作業員は細心の注意を払って、作業中の監視・連絡の徹底、入室時の自動運転機械の停止などを行い、事故防止に努めています。また、作業前ミーティング及びKY(危険予知)ミーティングの実施、後任者への交代時には確実に引き継ぎを行い、安全・確実な作業を心掛けています。

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>